

2016年度 行事開催報告

報告：会員交流企画委員会 視察部会

ニュービジネス企業視察会

“自動車のエンジニアたちが切り開く新規事業への取組から学ぶ”

訪問先：株式会社デンソー、トヨタネ株式会社

開催日：2017年2月24日（金） 12時～18時

参加者：28名

11時40分に名古屋商工会議所をバスで出発し、車中でお弁当のカツサンドを食べ、自己紹介をしながら豊橋にある(株)デンソー様の実証ハウスに到着しました。



今回の視察会は、CNB会員企業のデンソーが自動車産業で培った制御技術と、トヨタネの栽培技術を融合させて、CO₂・水・温度・湿度を最適にコントロールし、トマトの収穫量増大を実現する農業支援事業「プロファーム」を見学しました。

バスを降りて説明会場のトヨタネ研究農場本館へ向かう一同

新事業推進部の荒川部長様から「デンソーにとって新事業とは非自動車分野のことであり、その源流は1950年の電気洗濯機にさかのぼる。2011年からは8つの新規事業分野に集中している」とのご紹介をいただいた。

農業支援事業室の木股室長様からは「環境制御機器」＋「栽培相談」＋「作業改善」の3本柱で、日本の風土に合ったシステムを目指す取組をお話いただいた。



活発な質問で時間オーバーになってしまいました



100m四方の実証ハウスでは受粉のためのミツバチも飛び交っていました。

7月頃に苗を植え翌年の6月まで収穫が続き、その間にトマトの苗は1.2m以上の長さに成長するので、茎を少しずつ横に寝かせていき、先端の2～3mの部分を持ち上げて収穫すること。露地栽培で見るトマトとのギャップが大きくて驚きました。



トヨタネ(株)様の研究農場では、いろんな種類のミニトマトを同じ条件で栽培して比較研究していました。食べ比べてそれぞれ味や触感が違うことを再発見。全部のトマトを食べ比べた人もいたとか・・・

お土産にミニトマトをいただき、名古屋へ戻ってから金山で「会員交流・情報交換会」を盛大に開催しました。(株)デンソー様・トヨタネ(株)様、ありがとうございました。